

吹上自治会および御岳山防火管理協議会が 東京防災隣組に認定されました

都では意欲的な防災活動を行う団体を「東京防災隣組」として認定し、その取り組みを広く周知することで地域の防災力向上を図る事業を行っており、このたび、吹上自治会および御岳山防火管理協議会が認定を受け、認定式は4月23日（日）に都庁で行われました。

●吹上自治会

東日本大震災等の災害を機に、自主防災の重要性を再認識し、平成26年に自治会役員会での承認を経て防災ボランティア組織を立ち上げるとともに、27年に地域の底力再生事業助成を活用して、災害発生時、慌てずに行動できるよう、町内避難場所や消火器設置場所等を示した「吹上防災マップ」を作成し、自治会内全世帯に配布して周知を図っています。

●御岳山防火管理協議会

御岳山は孤立が懸念される地域であり、災害発生時には消防隊の到着に時間がかかることから、昭和59年9月、点在する宿坊や売店の経営者が中心となり、「自分たちの地域は、自分たちで守る」をスローガンに御岳山防火管理協議会を発足し、災害発生時の初動対応策として、自治会や消防団等と連携し、防災行動力の強化および日々の火災予防運動の推進に努めるとともに、女性だけの防災訓練の実施や上級救命講習受講者等の育成を図っています。

今回認定された2団体を含め、市では、現在5団体が認定されています。

問い合わせ 防災課危機管理係



2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック競技大会の入賞メダルに、不要になった小型家電に含まれるリサイクル材が活用されることになりました。

東京2020組織委員会が主催するこの取り組みに、全国の自治体が、小型家電の回収で協力することになり、青梅市でも本プロジェクトへ参加することになりました。2020年以降も持続可能な、リサイクルの促進につながることも期待されています。

市では、市役所の他、総合体育館、リサイクルセンターと各市民センターの全14か所に回収ボックスを設置しています。また、市と協定を締結した事業者による使用済小型家電の宅配回収も利用できます。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

主催 東京2020組織委員会、環境省、日本環境衛生センター、NTTドコモ、東京都

問い合わせ 清掃リサイクル課

「おうめ環境フェスタ2017」フリーマーケット出店者募集

市とおうめ環境市民会議では、環境への取り組みとネットワークづくりに寄与する目的で「おうめ環境フェスタ」を毎年開催しています。リサイクルやリユース等、イベントの目的に沿う内容のフリーマーケットの出店者を募集します。

日時 6月4日（日） 午前10時～午後3時

会場 市役所2階屋外テラス

※屋根はありません。

募集区画数 20区画（抽選）

※1区画当たりの広さは2.5m四方（予定）

費用無料

出店条件等 新品（家庭内不用品の範囲内であれば可）や電化製品などの高価な物品は不可▷出店にかかる費用は出店者が負担▷出店に必要な備品は出店者が用意する▷ごみを極力出さず出たごみは持ち帰る▷営利を目的としない▷出店時の事故等は出店者の責任で対応すること

※5月26日までに出店が可能な方へ詳細な内容を連絡します。

申し込み 5月19日（必着）までに環境政策課窓口（市役所3階）で配布の応募用紙に必要事項（①代表者の氏名②連絡先〈電話番号（必須）・ファックス・電子メール〉③当日販売したいものの内容〈古着、古本、手作りの小物等〉）等を記入し、ファックス ☎22-3508、電子メール ☎div1310@city.ome.tokyo.jp または直接環境政策課管理係へ

※詳細は、応募用紙をご覧ください。応募用紙は、市ホームページ「おうめ環境フェスタ2017」からダウンロードもできます。

問い合わせ 環境政策課管理係



5月 は 水 防 月 間

5月は水防の意義や重要性について理解を深め、市民の協力のもとに水害を未然に防ぎ被害を少なくするための水防月間です。

集中豪雨により、局地的に河川の水位が上昇し、市内でも冠水等する場合があります。大雨の際には、周囲に十分気を付け、水害に備えましょう。

また、青梅市民防災ハンドブック（平成27年3月に全戸配布・市ホームページ掲載）やHAZARD MAP（※災害時に自治体が発令する避難情報をもとに、地

図情報上に登録されている、土砂災害警戒区域とGPS機能による現在地を照らし合わせ、プッシュ通知で住民に危険をお知らせする防災地図情報アプリ（下のQRコードからダウンロードできます）

▽避難時の荷物は必要最低限にし、

●台風などが近付いたら 付近を流れる河川の状態や雨量情報、気象予警報、洪水予警報、土砂災害警戒情報を把握することが重要です。

テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネットなどで各種情報が入手できます。

●事前の備え 避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。

▽家族の安全確認の方法を決めておきましょう。

▽貴重品、衣類、非常用食料などを準備しておきましょう。

国土交通省では、水防法等の一部を改正する法律改正に伴い、多摩川浸水想定区域が見直され、新たに浸水想定区域の追加、浸水継

●緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信の開始

国土交通省では、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、国が管理する

多摩川の沿岸市町村において、緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を開始しました。

※詳細は、市ホームページまたは国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所ホームページをご覧ください。お問い合わせ 防災課防災係

※QRコードは (株)デンソーウェブの登録商標です。



「青梅子ども110番の家」の登録・防犯ブザーの給与 「青梅子ども110番の家」は、子どもたちが身の危険を感じた時等に駆け込めるよう住宅や商店等を緊急避難場所として登録する事業で、市民の皆さんのご協力により、平成28年度末時点で2千121件のご登録をいただいています。

新規登録を随時受け付けていますので、教育総務課（市役所3階）に備え付けの登録用紙に必要事項を記入し、ご提出ください。登録用紙は、市教育委員会のホームページからもダウンロードできます。

